

4. 令和4年度予算における事業概要 ～読む・学ぶ・調べる図書館活動の推進～

No. 1

事業名称	会計	予算科目	予算額	予算説明書 掲載ページ	担当課
図書館運営事業	一般	10款2項4目42事業	24,827千円	234	文化課

【市立図書館 運営方針 および 事業概要】

市民の「知る自由」を保障し“生涯学習を支援する情報センター”として、市民の文化的で豊かな暮らしに資する読書文化を育むとともに、資料や情報の提供によって市民の様々な課題解決を支援していきます。

本と気持ちよく出会える場をつくります

①「館内の雰囲気づくり」

- ☐ 気持ち良い接遇
- ☐ 探しやすい、手に取りやすい配架・ディスプレイ
- ☐ わかりやすい案内サイン表示
- ☐ 心やすらぐ場の提供、生涯学習ゾーン内施設間の連携
- ☐ 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応 等



②「図書館資料の充実」

- ☐ 「資料収集方針」に基づく、新鮮で調和のとれた蔵書構成の構築
- ☐ 多様化・高度化する学習ニーズへの対応、郷土・行政資料の充実
- ☐ 逐次刊行物(雑誌、新聞、年鑑等)の更新や傷んだ書籍の買替え
- ☐ バリアフリーサービス(大活字本、拡大読書器、朗読CD等) 等

③「調べもの支援」

- ☐ 利用者の「？」に寄り添う接遇やレファレンスサービス、インターネット検索
- ☐ (古賀にない資料を他館から取り寄せる)相互貸借 等

読書の楽しさやよろこびを伝え、そのきっかけをつくります

①「館内・外での企画展示」

(企画運営編)

- ☐ 特設コーナーによる企画展示(地域文化活動等展示を含む)
- ☐ 情報ラック事業(各課の事業や行事に関連する資料を紹介)
- ☐ おすすめ本の紹介、役立つブックリストの配布 等

②「情報発信、広報活動の充実」

- ☐ 広報紙、HP、SNS、催事チラシ、利用案内、図書館要覧 等

新しい読書スタイル「電子図書館サービス」を推進します

①「電子図書館サービスの利用促進」

- ☐ サービスの周知、利用案内
- ☐ 電子書籍コンテンツの充実 等



古賀市電子図書館



事業名称	会計	予算科目	予算額	予算説明書 掲載ページ	担当課
読書活動促進事業	一般	10款2項4目43事業	1,497千円	236	文化課

読書をととして、人や地域・学校などをつなぎます

①「子ども読書活動推進計画(第4次)の策定」※

- 令和4年度策定に向けて、3年度に引き続き協議会等にて協議

②「おはなし会等の開催」

- 読書の楽しさを伝え、図書館や本の世界に親しむきっかけづくり
(赤ちゃん・小さい子のおはなし会、高校生によるおはなし会、
布の絵本づくり、セカンドブック等)

③「読書ボランティア団体を支援し、相互交流を促進」

- 読書ボランティア講座・交流会
(養成・スキルアップ支援、情報交換)等



④「学校などとの連携・協力」

- 団体貸出し(市役所、学校、保育所等施設、学童保育所、地域文庫・読書ボランティア等)
- 小中高校、地域文庫、他施設への配本、小I向け図書館利用案内の配布
- 施設見学、ドリームステージ、インターンシップ受入
- 企業、団体からの雑誌寄贈(雑誌スポンサー制度)等

読書の楽しさやよろこびを伝え、そのきっかけをつくります

(イベント編)

①「イベントや講座の開催」

- 図書館まつり(地域文庫・読書ボランティアの活動成果の発表、作品展示、
体験コーナー等)
- 各種講座(文学講座、教養講座、子ども読書の日のイベント等)
- 映画会(名画会、子ども映画会)等

※『子ども読書活動推進計画(第4次)』の概要

【計画策定の趣旨】

子どもの読書活動は、人生をより深く生きる力を身に付けていく
うえで欠くことができないものであり、古賀市において、読書活動
の意義を踏まえた事業をより計画的に実施するため、本計画を
策定するものです。

【計画の期間】

令和4～9年度までの概ね5年間

【計画の対象】

0歳から概ね18歳まで

